
2008年3月期 決算説明会

石油資源開発株式会社

2008年5月15日

注意事項

本資料に掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略、その他歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しを示したものです。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

Copyright: 本資料に含まれるすべての内容に関する著作権は、当社が有しています。事前の承諾なく、これらの内容を複製もしくは転載することはお控えください。

※ 本資料において 1H, 2H はそれぞれ上期、下期を、(a) は実績数値を、(e) は予想数値を示しています。

本資料に関するお問い合わせ、その他IRに関するご質問は、以下にお願いいたします。

石油資源開発株式会社 広報IR部 IRグループ 電話03-6268-7111

目次

1. 事業の概況

代表取締役社長 棚橋 祐治

2. 2008年3月期 決算の概要

専務取締役 佐藤 弘

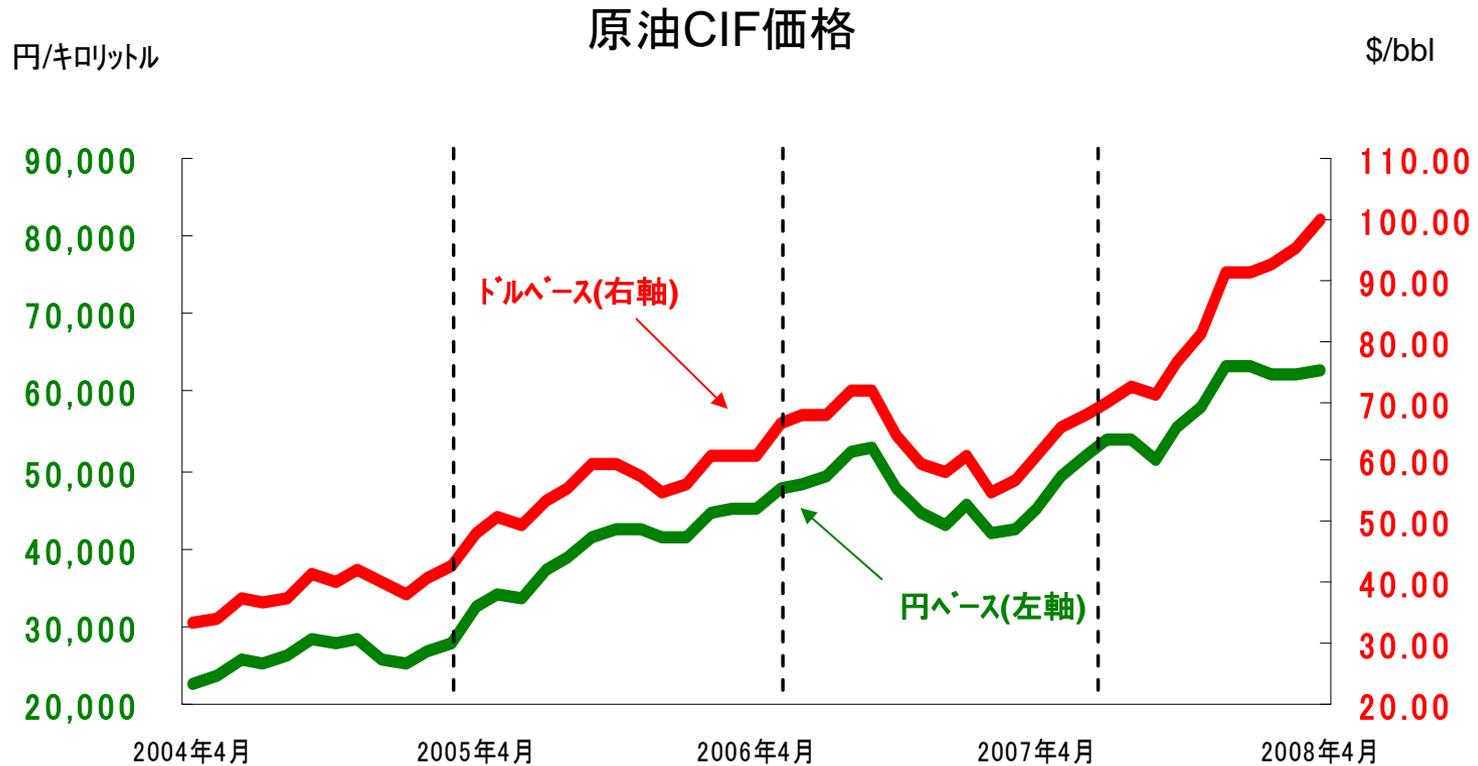
3. 2009年3月期 業績見通しの概要

専務取締役 佐藤 弘

事業の概況

代表取締役社長 棚橋 祐治

原油価格の動き



➤ 2008年4月上中旬分の円建てCIF価格(速報)は、62,963 円/kl (100.10ドル/bbl)

08/3期実績 及び 09/3期見通し概要

単位:百万円

	07/3期(a)	08/3期(a)	09/3期(e)
売上高	170,018	207,638	193,772
営業利益	29,719	19,625	8,860
経常利益	34,705	27,247	14,321
当期純利益	20,982	20,097	11,141

08/3期 実績

- 原油CIF価格は、前期比 \$13.00/bbl上昇し\$76.21/bbl (為替114.66円/\$ (前期比 Δ 2.23円/\$))
- 原油及び天然ガス販売数量の増加並びに原油価格の上昇により売上高前期比増
- 営業利益は、探鉱費の増加等により前期比減となるが、当期純利益は営業外収益の増加等によりほぼ前期並み

09/3期 見通し

- 原油CIF価格前提は、前期比 \$3.79/bbl上昇し\$80/bbl (為替105円/\$ (前期比 Δ 9.66円/\$))
- 天然ガス売上は増加を見込むが、原油売上は減少、探鉱費の大幅な増加もあり、減収減益

09/3期 事業計画の概要

➤ 国内探鉱

- 収益の源泉である国内埋蔵量の拡大を図るため、
 - ・「大規模ガス埋蔵量の追加を目指した探鉱」と
 - ・「既存油ガス田周辺でのフィールドグロースを指向した探鉱」を効率よく組み合わせて実施（陸上3坑、海上2坑 計5坑）

➤ ガス事業

- 供給能力確保に必要な投資を推進する（採掘井掘削（陸上2坑、海上2坑 計4坑）、北海道 勇払油ガス田、新潟県内油ガス田の設備増強）
- 原油高止まりに伴い相対的に割安となった天然ガス販売価格の適正化に取り組む

➤ 海外事業

- 重点地域（東南アジア、カナダ、中東、北アフリカ、サハリン）における、既存プロジェクトでの作業推進及び事業発掘・新規権益の取得を目指す
- オイルサンド環境影響調査
- LNG 上・中流プロジェクトの参加機会の発掘

09/3期 国内探鉱計画

試探掘井 掘削スケジュール

	掘削 深度	09/3期				備考
		1Q	2Q	3Q	4Q	
聖籠沖 MS-1	4,310m	■				前期より継続
胎内沖 MS-1	4,350m	□				
由利原 F' 7H	2,800m			□		探掘井
沼ノ端(T1) 東d1	1,525m				□	
片貝 R1	5,200m				□	来期へ継続



[08/3期～ 試掘結果]

- ・岩船沖南西MS-1 (3,748m) 成功
- ・北葛塚MTTS-1 (3,798m) 廃坑
- ・聖籠沖MS-1 (4,310m) 廃坑

物理探鉱計画

- 2D震探: 北海道、秋田、新潟で計83km
- 3D震探: 勇払と新潟沖で計181km²

片貝R1

09/3期 設備投資計画

単位: 億円

	08/3期 (a)	09/3期 (e)
設備投資額*	417	384
減価償却費	166	222

*計上ベース

天然ガス供給能力確保
のための生産設備の増強

主な設備投資項目

	1Q	2Q	3Q	4Q	備考
採掘井 掘削工事 (北海道)	■				陸上1坑
採掘井 掘削工事 (新潟県)	■				陸上1坑、海上2坑
勇払鉱場 生産設備増強	■				来期継続
新潟県内油ガス田 生産設備増強	■				来期継続

海外事業：重点地域での取組み

カナダ

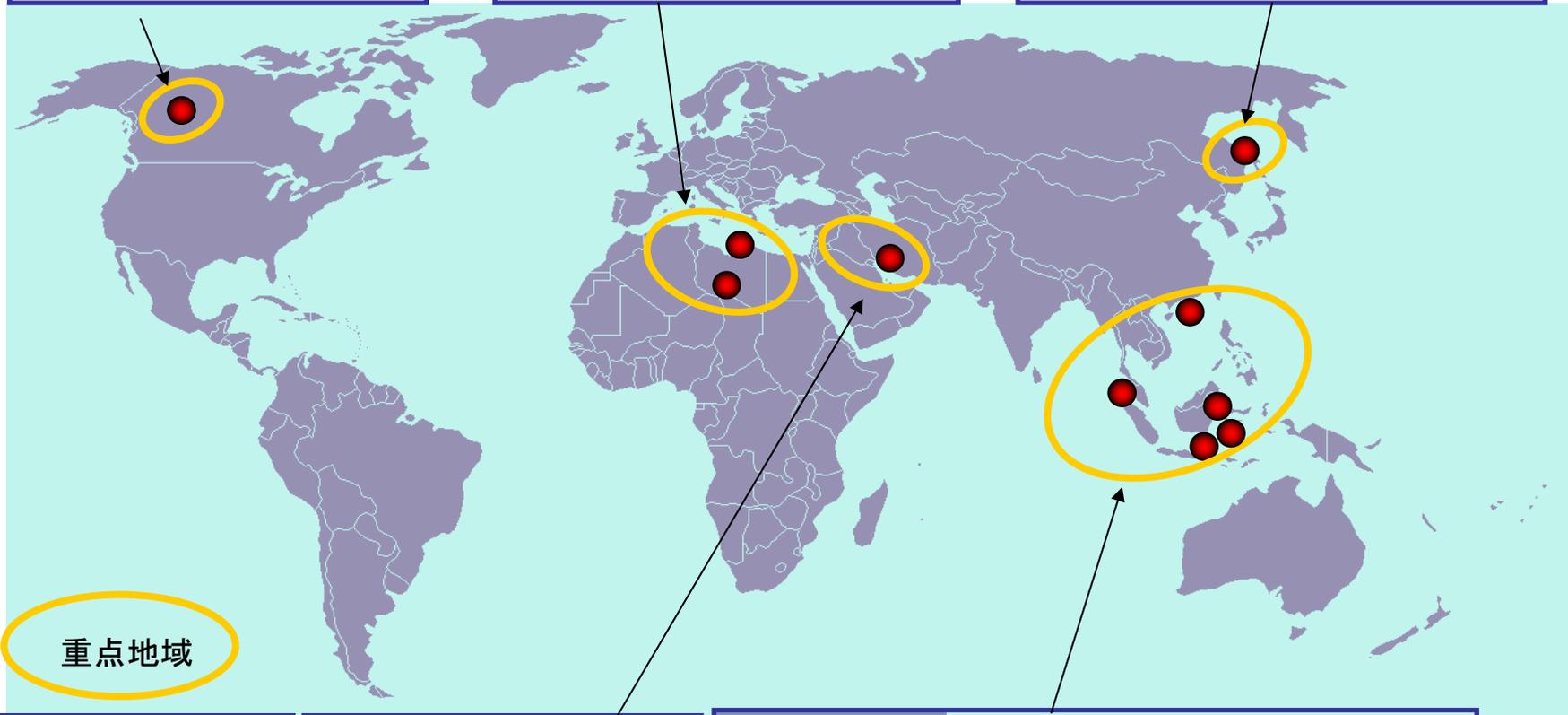
オイルサンド開発
(生産中& 探鉱(埋蔵量評価))

北アフリカ

リビア2鉱区(探鉱)

サハリン

サハリン1プロジェクト(生産中)



重点地域

● 連結子会社および持分法関連会社等が権益を保有する鉱区

中東

イラン: JJI S&N (生産中)
イラク: 石油省と技術協力

東南アジア

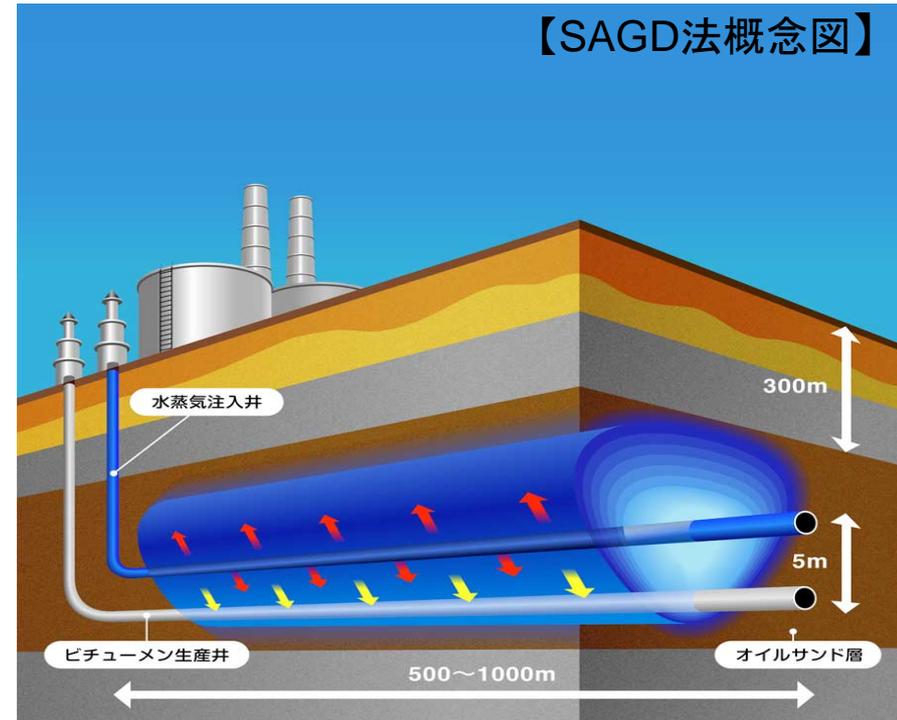
中国: 新南海石油開発(生産中)
フィリピン: SC 46 鉱区(探鉱) ⇒ 鉱区放棄
インドネシア: カンゲアン鉱区(生産中 & 開発)、Block A (開発)、ブトン(探鉱)、ユニバースガスアンドオイル(生産中)

海外事業現況(1) カナダ オイルサンド

- **カナダオイルサンド(株):**
連結子会社(当社86.64%出資)
- **オペレーター:**
100%出資 現地法人
Japan Canada Oil Sands Ltd. (JACOS)
- **生産鉱区: Hangingstone 3.75 セクション**
(権益比率: 100%)
 - 1978年 実験操業開始
 - 1997年 SAGD法による実証生産段階へ
 - 1999年 生産開始
 - 2003年 商業生産へ移行
 - 約 8,000 bbl/d で生産中
 - 採掘井(7ペア)の追加掘削作業終了
(07年6月)
- **Hangingstone 鉱区の未開発エリアの地質評価作業を実施中**
(2006年末~2009年初)

環境影響調査開始

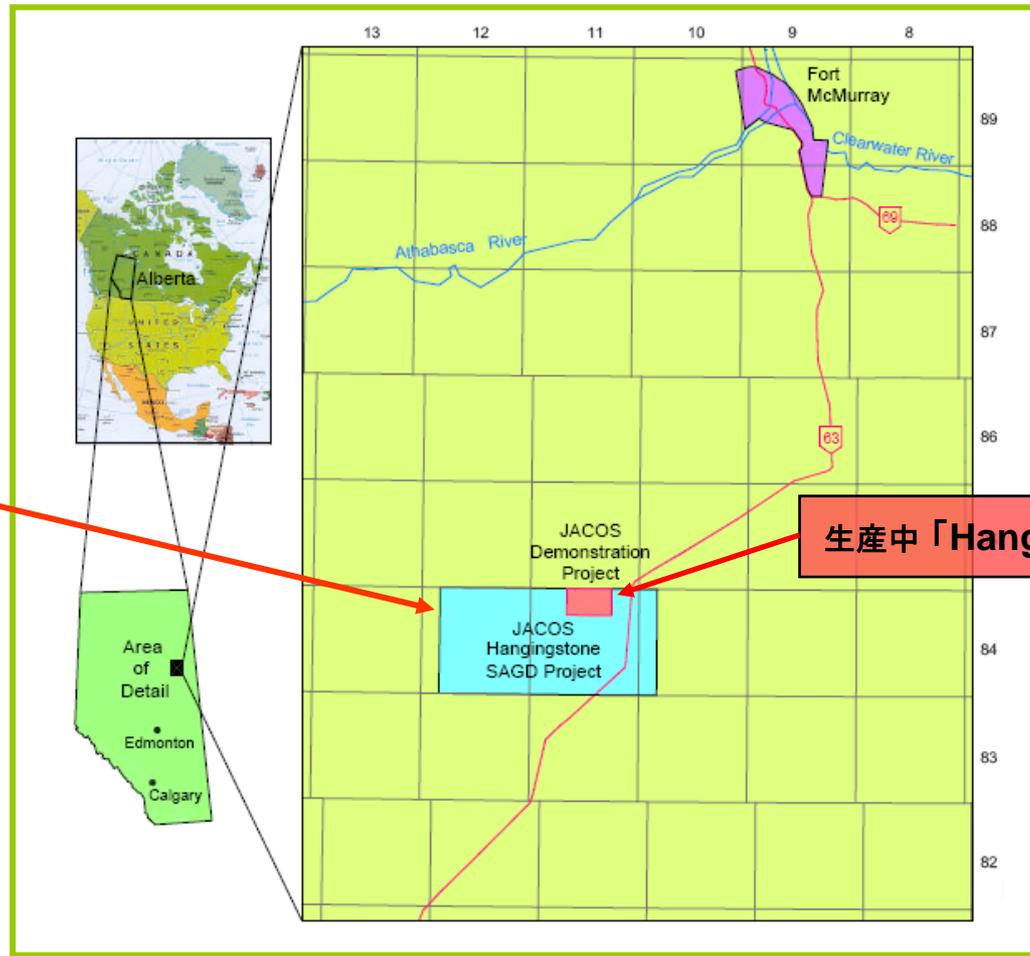
(将来25~30年間 最大35,000bbl/d の追加生産を期待)



＜オイルサンド＞

- 超重質で高粘性の原油「ビチューメン」が砂と混じったもの
- 通常の原油のように自噴しないため、特殊な回収技術が必要
- ビチューメンを砂と分離して採取、販売

Hangingsstone SAGD Project 鉱区位置図



Hangingsstone 鉱区

生産中「Hangingsstone 3.75 セクション」

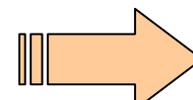
海外事業現況(2) サハリン1 プロジェクト

サハリン1 コンソーシアム

企業名	国名	権益比率	備考
Exxon Neftegas Ltd.	米	30.0%	ExxonMobil社の子会社 オペレーター
サハリン石油ガス開発(株)	日	30.0%	
Sakhalinmorneftegas-Shelf	露	11.5%	サハリン海洋石油ガス社の子会社
RN-Astra	露	8.5%	ロシア国営ロスネフチ社の子会社
ONGC Videsh Ltd.	印	20.0%	インド国営石油ガス公社の子会社

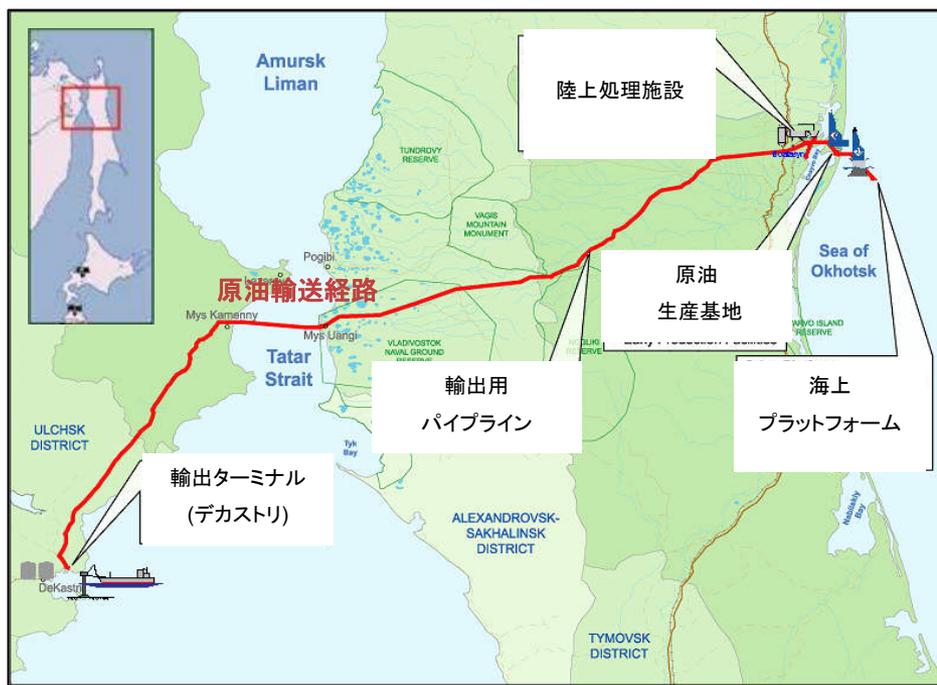
サハリン石油ガス開発(株) (SODECO)

➤ 2008年3月 初配当実施



株主名	持株比率
経済産業大臣	50.00%
石油資源開発(株)	14.46%
伊藤忠商事(株)	14.46%
丸紅(株)	11.68%
その他	9.40%

- 2005年10月 原油生産開始 (ロシア国内向け供給)
- 2006年10月 ソコル(Sokol) 原油として輸出開始
- 2007年2月 目標原油ピーク生産量 (25万bbl/d) 到達



海外事業現況(3) リビア 40-3/4 鉱区、176-4 鉱区

(株)ジャペックスリビア:

連結子会社(当社100%出資)

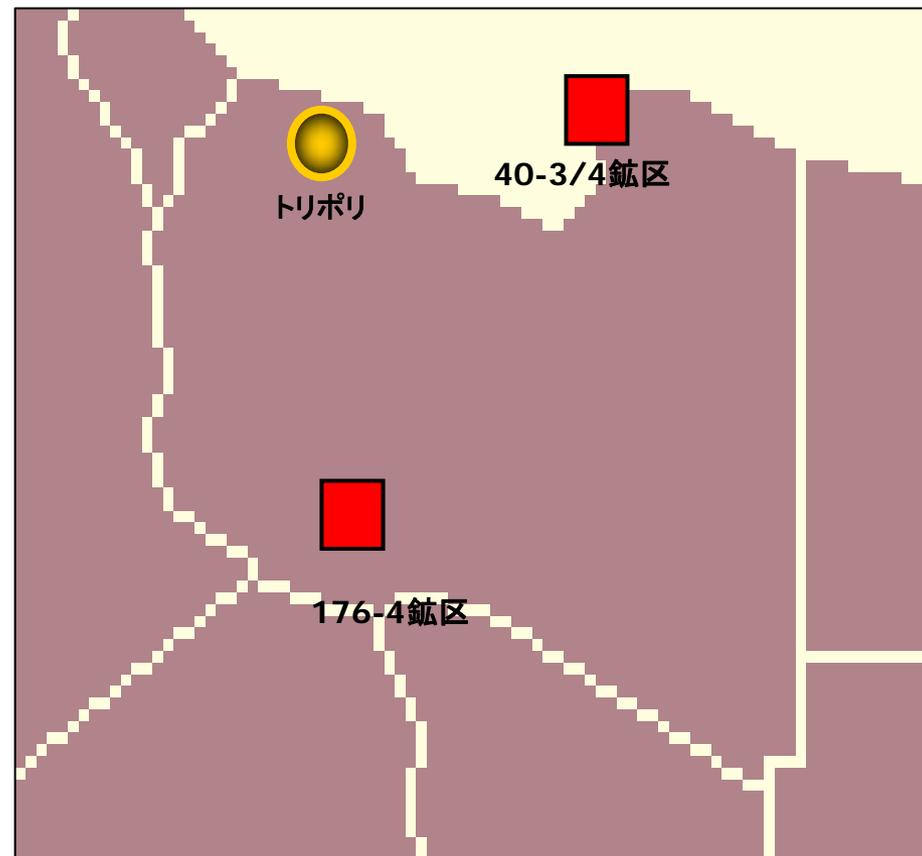
海上 40-3/4 鉱区 (地中海沿岸部)

- 権益比率: 42% (オペレーター)
- 2008年の作業計画
試掘井1坑掘削(義務井2坑中の1坑目)

陸上 176-4 鉱区 (南西部ムルズク地域)

- 権益比率: 100% (オペレーター)
- 2008年の作業計画
試掘井1坑掘削(義務井1坑)

国営石油会社から技術研修生を受入れ、関係強化を図る



海外事業現況(4) イラク石油省との技術協力

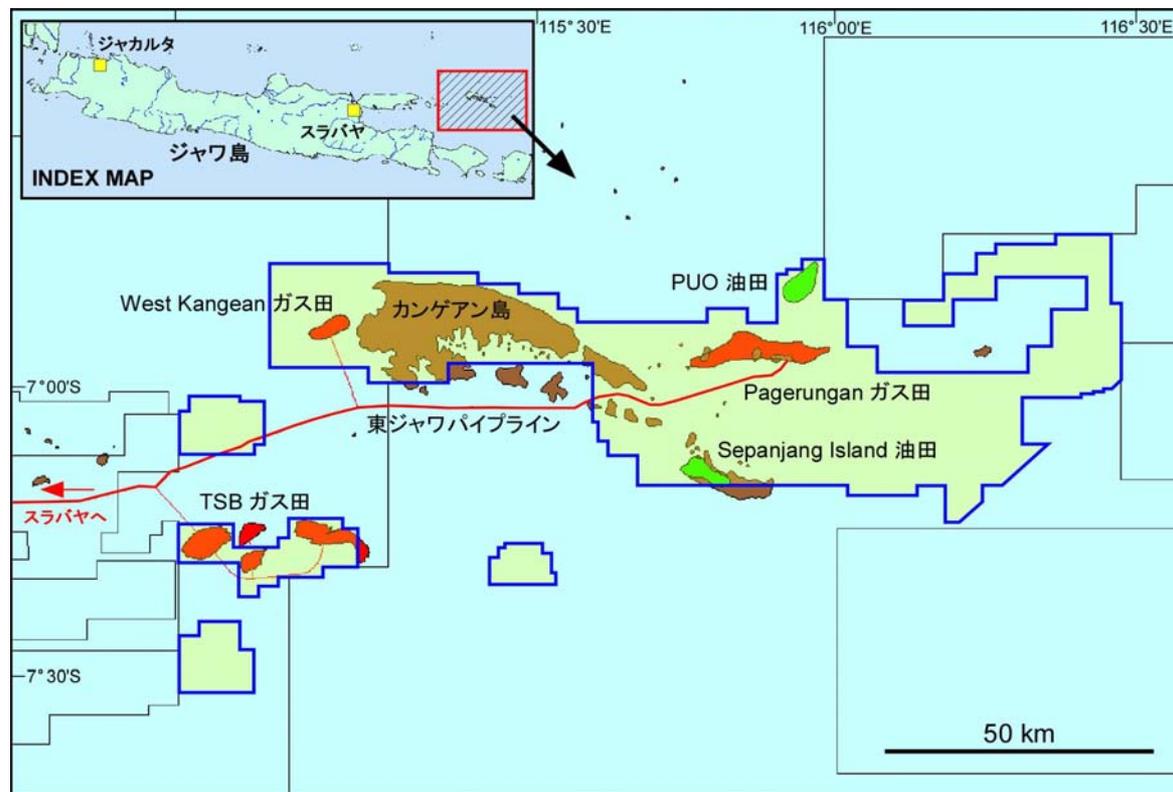
- 2005年3月に技術協力覚書を締結
- これまでの実績
 - イラク国内の油田の共同評価作業
 - 3D地震探鉱に係わる技術支援
 - 石油技術者への教育訓練
(受入研修生 延 400人超)
 - 原油軽質化技術及び増産手段の検討
- 実施中の支援
 - 3D地震探鉱技術を利用したガラフ油田調査に対する技術支援
- 将来の油田開発に向けた入札資格審査
 - 当社は応募した120社の中から選ばれた35社の中にリストアップ (2008年4月)



シャハリスタニ石油相(右)との面談 (2007年9月ドバイ)

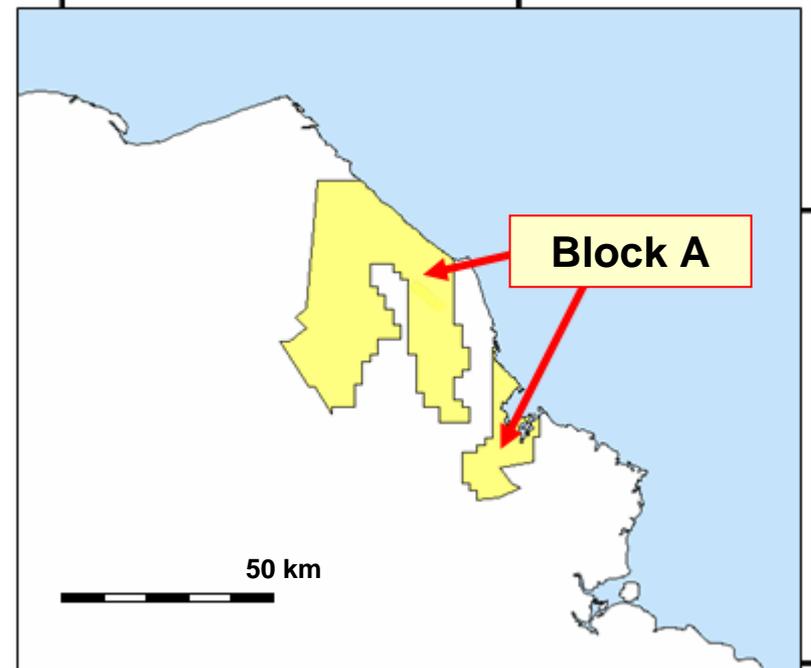
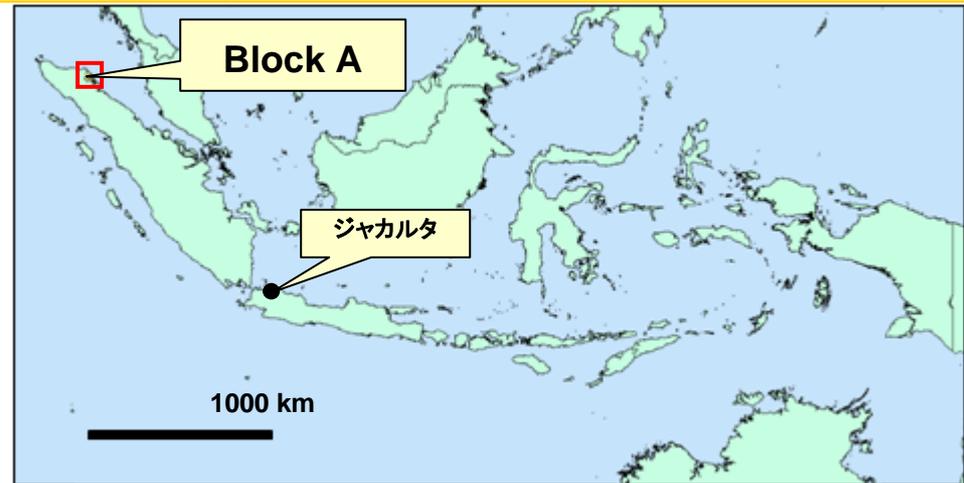
海外事業現況(5) インドネシア カンゲアン鉱区

- **Kangean Energy Indonesia Ltd. (KEI) 他2社 :**
持分法適用会社
- 保有鉱区:カンゲアン鉱区
(ジャワ島東方沖)
- 当社権益比率:25%
- オペレーター:KEI
- 現在の生産規模は
原油換算約 1万boe/d
- 2010年から3億cf/dを追加生産
(TSBガス田)して、
約6万boe/d に生産量を
拡大する計画
- TSBガス田の開発井3坑を掘削
(2007年12月～2008年1月)
- PS契約:2030年まで



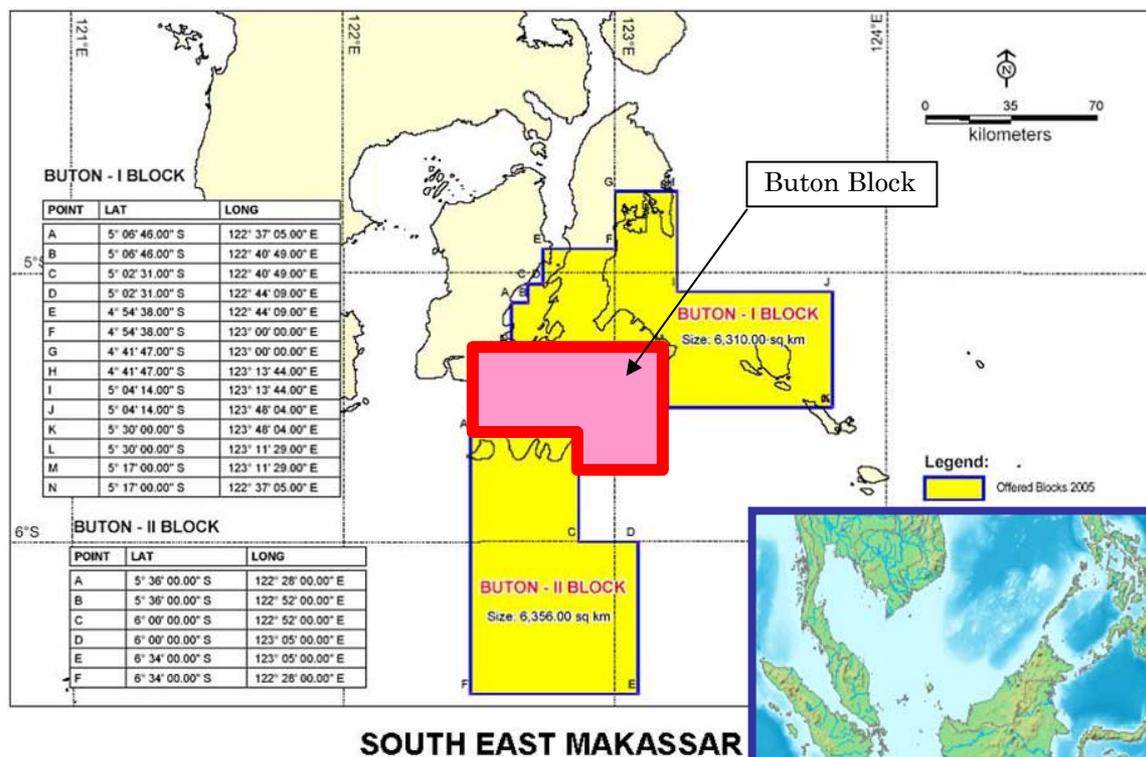
海外事業現況(6) インドネシア A鉦区

- (株)ジャペックス Block A :
連結子会社(当社100%出資)
- 保有鉦区:A鉦区(スマトラ島北部)
- 権益比率:16.67%
- オペレーター:Medco社
- 2010年に3つのガス田を併せて、
約1億cf/dで生産開始する計画
(原油換算 約2万boe/d)
- PS契約:2011年まで
(延長申請中)



海外事業現況(7) インドネシア ブトン鉱区

- (株)ジャペックスブトン:
連結子会社
(当社100%出資)
- 保有鉱区:ブトン鉱区
(南東スラウェシ州
ブトン島陸・海域)
- 権益比率:40%
- オペレーター:
(株)ジャペックスブトン
- 2008年の作業計画
 - ・空中重磁力調査
 - ・2D地震探鉱調査



2008年3月期 決算の概要

専務取締役 佐藤 弘

08/3期 決算サマリー

百万円	07/3期	08/3期	
	通期実績	2/15見通し	実績 08/5/15発表
売上高	170,018	206,667	207,638
営業利益	29,719	19,101	19,625
経常利益	34,705	28,461	27,247
当期純利益	20,982	21,503	20,097

2/15 修正見通し → 実績

- ✓ 原油CIF価格は\$76.21/bbl（見通し比+\$0.59/bbl）
- ✓ 為替は114.66円/\$（見通し比 Δ 0.37円/\$）
- ✓ 探鉱費は12億円減少（見通し比）
- ✓ 見通し比で、売上高は9億円、営業利益は5億円増加、
経常利益は12億円、当期純利益は14億円減少

08/3期 原油販売実績(前期比)

	07/3期		08/3期		増減	
	中間 (a)	通期 (a)	中間 (a)	通期 (a)	中間	通期
原油販売量 (千kl)	930	2,266	1,227	2,450	+296	+184
売上高 (百万円)	37,226	94,709	59,177	128,391	+21,951	+33,682
原油CIF価格 (\$/bbl)	65.82	63.21	65.08	76.21	△ 0.74	+13.00
為替 (Yen/\$)	115.42	116.89	119.97	114.66	+4.55	△ 2.23

権益原油の内訳	07/3期		08/3期		増減	
	中間 (a)	通期 (a)	中間 (a)	通期 (a)	中間	通期
国産原油販売量 (千kl)	258	558	253	574	△ 4	+15
売上高 (百万円)	12,494	25,530	12,805	32,170	+310	+6,640
海外子会社原油販売量 (千kl)	96	194	83	144	△ 13	△ 50
売上高 (百万円)	4,806	9,259	3,806	7,483	△ 1,000	△ 1,776
ビチューメン販売量 (千kl)	229	444	195	409	△ 34	△ 35
売上高 (百万円)	4,410	9,777	4,851	10,468	+440	+690

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は、買入原油を除いております。また、「海外子会社原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社3社(新南海石油開発㈱、ジャワ石油㈱、Japex (U.S) Corp)の合計数値を記載しています。

08/3期 ガス販売実績(前期比)

	07/3期		08/3期		増減	
	中間 (a)	通期 (a)	中間 (a)	通期 (a)	中間	通期
ガス販売量 (百万m ³)	614	1,411	631	1,486	+17	+75
売上高 (百万円)	18,893	44,949	20,102	48,982	+1,209	+4,033
国産ガス販売量 (百万m ³)	491	1,099	487	1,124	△4	+25
売上高 (百万円)	15,389	35,577	15,646	37,121	+256	+1,544

本資料における「国産ガス」の販売量及び売上高は、買入ガスを除く数値を記載しています。

主に都市ガス向け増販



販売量 7,500万m³(5%)増 [売上高 40億円(9%)増]

08/3期 損益変動要因(前期比)

単位:百万円

	07/3月期 通期 (a)	08/3月期 通期 (a)	増減 前期比
売上高	170,018	207,638	+37,620
売上総利益	65,844	63,955	△ 1,888
探鉱費	8,178	13,559	+5,381
販管費	27,946	30,770	+2,824
営業利益	29,719	19,625	△ 10,093
営業外損益	4,985	7,621	+2,636
経常利益	34,705	27,247	△ 7,457
特別損益	△ 45	△ 942	△ 897
法人税等	11,909	5,426	△ 6,482
少数株主利益	1,768	780	△ 987
当期純利益	20,982	20,097	△ 884

国内原油天然ガス +17億円
 海外連結子会社 △30億円
 (新南海石油開発 △19億円)
 (ジャワ石油 △7億円)
 (JACOS △7億円)

国内探鉱費増 △11億円
 海外探鉱費増 △42億円

白石・郡山PL償却費等増 △12億円
 GTL研究開発費 △11億円

受取配当金増 +24億円
 持分法損益 +15億円
 海投損繰入戻入 +14億円
 有価証券評価損 △15億円
 為替差損 △12億円

震災復旧費用 △ 7億円

増減要因の説明は、増益要因を+、
減益要因を△で記載。

2009年3月期 業績見通しの概要

専務取締役 佐藤 弘

09/3期 業績見通し

単位:百万円

	09/3期		
	1H(e)	2H(e)	通期(e)
売上高	86,404	107,368	193,772
売上総利益	28,256	33,798	62,054
探鉱費	11,433	10,129	21,562
販管費	15,172	16,460	31,632
営業利益	1,651	7,210	8,860
営業外損益	1,889	3,572	5,461
経常利益	3,540	10,781	14,321
特別損益	△20	23	3
法人税等	1,001	1,984	2,985
少数株主利益	△303	501	198
当期純利益	2,822	8,319	11,141

原油CIF価格、為替の前提

	1H(e)	2H(e)	通期(e)
原油CIF価格 (\$/bbl)	80.00	80.00	80.00
為替 (Yen/\$)	105.00	105.00	105.00

事業部門別売上構成

単位:百万円

	1H(e)	2H(e)	通期(e)
原油・天然ガス	78,275	98,503	176,777
請負事業	2,042	1,931	3,973
その他事業	6,087	6,934	13,022

探鉱費の内訳

単位:百万円

	1H(e)	2H(e)	通期(e)
国内探鉱費	6,344	5,805	12,149
海外探鉱費	5,089	4,324	9,413

09/3期 業績見通しー前期比ポイント

単位:百万円

	08/3期		09/3期		増減	
	中間 (a)	通期 (a)	中間 (e)	通期 (e)	中間	通期
売上高	91,360	207,638	86,404	193,772	△4,957	△13,867
営業利益	9,031	19,625	1,651	8,860	△7,381	△10,765
経常利益	13,825	27,247	3,540	14,321	△10,285	△12,927
当期純利益	9,695	20,097	2,822	11,141	△6,873	△8,957

経常利益の主な減少要因

- 売上総利益の減少 △ 19億円
- 探鉱費の増加 △ 80億円
- 営業外損益 △ 21億円

09/3期 原油販売見通し

	08/3期		09/3期		増減	
	中間 (a)	通期 (a)	中間 (e)	通期 (e)	中間	通期
原油販売量 (千kl)	1,227	2,450	1,041	2,304	△ 187	△ 146
売上高 (百万円)	59,177	128,391	48,299	107,191	△ 10,879	△ 21,201
原油CIF価格 (\$/bbl)	65.08	76.21	80.00	80.00	+14.92	+3.79
為替 (Yen/\$)	119.97	114.66	105.00	105.00	△ 14.97	△ 9.66

権益原油の内訳	08/3期		09/3期		増減	
	中間 (a)	通期 (a)	中間 (e)	通期 (e)	中間	通期
国産原油販売量 (千kl)	253	574	274	618	+21	+43
売上高 (百万円)	12,805	32,170	14,571	32,664	+1,766	+493
海外子会社原油販売量 (千kl)	83	144	73	129	△ 10	△ 15
売上高 (百万円)	3,806	7,483	3,882	6,831	+76	△ 652
ビチューメン販売量 (千kl)	195	409	217	451	+21	+42
売上高 (百万円)	4,851	10,468	4,742	9,808	△ 109	△ 661

本資料における「国産原油」の販売量及び売上高は、買入原油を除いております。また、「海外子会社原油」の販売量及び売上高は、海外連結子会社2社(新南海石油開発株)、Japex (U.S) Corp)の合計数値を記載しています。

09/3期 天然ガス販売見通し

	08/3期		09/3期		増減	
	中間 (a)	通期 (a)	中間 (e)	通期 (e)	中間	通期
ガス販売量 (百万m3)	631	1,486	677	1,574	+45	+87
売上高 (百万円)	20,102	48,982	23,617	55,164	+3,515	+6,182
国産ガス販売量 (百万m3)	487	1,124	502	1,176	+15	+51
売上高 (百万円)	15,646	37,121	17,606	41,161	+1,960	+4,039

本資料における「国産ガス」の販売量及び売上高は、買入ガスを除く数値を記載しています。

都市ガス向け及び産業用需要家向け増販を見込む



販売量 8,700万m³(6%)増 [売上高61億円(13%)増] を見込む

09/3期 損益変動要因(前期比)

単位:百万円

	08/3月期 通期 (a)	09/3月期 通期 (e)	増減 前期比	
売上高	207,638	193,772	△13,866	
売上総利益	63,955	62,054	△1,901	国内原油天然ガス △9億円 JACOS △4億円
探鉱費	13,559	21,562	+8,003	国内探鉱費増 △51億円 海外探鉱費増 △29億円
販管費	30,770	31,632	+862	
営業利益	19,625	8,860	△10,765	
営業外損益	7,621	5,461	△2,160	受取配当金減 △8億円 持分法損益減 △12億円 海投損繰入戻入減 △12億円 有価証券評価損減 +15億円
経常利益	27,247	14,321	△12,926	
特別損益	△942	3	+945	
法人税等	5,426	2,985	△2,441	震災復旧費用減 +7億円
少数株主利益	780	198	△582	
当期純利益	20,097	11,141	△8,956	

増減要因の説明は、増益要因を+、
減益要因を△で記載。

油価及び為替の前提 及び 収益への影響

	07/3期	08/3期	09/3期	増減 前期比
	通期 (a)	通期 (a)	通期 (e)	
原油CIF価格 (\$/bbl)	63.21	76.21	80.00	+3.79
為替 (Yen/\$)	116.89	114.66	105.00	△ 9.66

原油価格前提 = 80 USD/bbl

1\$/bbl の油価上昇による
利益増加額は ……

営業利益	320 百万円
経常利益	320 百万円
当期純利益	210 百万円

注

ピチューメンの販売価格は通常の原油価格とは異なる動きを示すことが多いため、オイルサンド事業に関する油価変動の影響は、ここに示した数値には含まれていません。

為替前提 = 105 円/USD

5 円/\$ の円安による
利益増加額は ……

営業利益	540 百万円
経常利益	540 百万円
当期純利益	240 百万円

注

為替変動の影響に関して、左記に示したものの以外に、当社及び連結子会社の保有する外貨建金銭債権債務（ヘッジ会計適用分を除く）の為替レート換算差額が発生します（評価差額を営業外損益に計上）。

(注) 上記は参考値であり、実際の利益は原油価格や為替以外の様々な要因によっても影響されます。